

7. 歯周病初期治療 前歯部のハンドスケーリングと歯面研磨・PMTTC



## 7. 歯周病初期治療 前歯部のハンドスケーリングと歯面研磨・PMTc

### <到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従える
- ・ ステップごとに報告できる
- ・ 患者にこれから行うこと（スケーリング・PMTc）の説明ができる
- ・ 必要な器材の準備ができる
- ・ 手用スケーラーを正しく扱える
- ・ 歯面研磨を適切に行える
- ・ 歯垢染色剤で適切に歯垢を染められる（唇や口腔外に染色剤がつかないように注意）
- ・ 清掃の行き届いていない箇所を患者に説明できる
- ・ 歯間空隙、歯頸部、咬合面の研磨清掃が適切に行える
- ・ フッ化物入り歯面研磨剤の効用と術後の注意点を患者に説明できる
- ・ 患者に術後説明ができる
- ・ 器具の後片付けができる

### <設定場面>

患者は初期の歯周病で来院し、初期治療としてスケーリングと PMTC をすることとなった。今回は前歯部のスケーリング予定である。

### <診療手順>

#### 1. 患者の誘導と説明

歯科医師：衛生士（助手）に患者の誘導と説明を行うよう指示する。

衛生士（助手）：患者をチェアに誘導し、処置内容を説明する。

患者：スケーリングの効果について質問する。

衛生士：スケーリングの効果について説明する。

#### 2. 器材の準備 必要器材：エックス線フィルム、歯周病診査記録、ハンドスケーラー、ガーゼ

歯科医師：助手に必要な器材を用意するよう指示する。

助手：必要器材を準備する。

#### 3. 歯肉縁上の除石

歯科医師：衛生士にハンドスケーラーで歯肉縁上の除石を行うよう指示する。

衛生士：ハンドスケーラーで歯肉縁上歯石を除去する。

#### 4. 歯肉縁下の除石と歯根面の滑沢化(ルートプレーニング)

歯科医師：衛生士にハンドスケーラーで歯肉縁下の除石と歯根面の滑沢化を行うように指示する。

衛生士：キュレットの刃部を底に向けて挿入し、ローシャンクが歯面に平行になるようにあてて、そのまま歯冠側に向かって引き上げる。

これによって縁下歯石と壊死セメント質の除去を行う。

刃部に付着した付着物はガーゼなどで拭う。

なるべく器具の取替えをしないで作業の順序を考えておくとよい(同じキュレットで数歯の近心面を続けて行い、刃部の形態を考えて持ち替え、遠心面を行う)

ハンドスケーラーが入らない隣接面はフレキシブルスケーラーなどで除石と研磨を行う。

探針でポケット内を探り、取り残しがないか確認する。また、スリーウェイシリンジでポケット内を洗浄・乾燥して確認する。

#### 5. 歯冠空隙、歯頸部、咬合面の研磨清掃 必要器材：PMTC用コントラ、コントラ用チップ、フッ化物入り歯面研磨剤、ポリッシングブラシ、ラバーカップ

歯科医師：衛生士に歯面研磨を行うよう指示する。

衛生士：歯面に研磨剤をつけ、ブラシ・カップを順に使い研磨を行う。

フッ化物入り歯面研磨剤の効用を説明する。

#### 6. ポケットの洗浄と貼薬 必要器材：ポケット洗浄用シリンジ、ヨードグリセリン

歯科医師：衛生士にポケットの洗浄とヨードグリセリンの貼薬を指示する。

衛生士：改めてポケット内を消毒剤で洗浄し、貼薬する。

患者：ポケット内へ貼薬された薬について質問する。

衛生士：ヨードグリセリンについて説明する。

7. 患者への説明 必要器材：初診時のカラースライド、手鏡

歯科医師：衛生士に患者への説明を指示する。

衛生士：患者に手鏡を渡し、カラースライドと比較しながら口腔内を確認してもらう。

患者：口腔内を確認し、改善されている部分と今後の課題について質問する。

衛生士：改善点と今後の課題について説明する。

助手：使用器材の後片付けをする。

## 7. 前歯部ハンドスケーリングと歯面研磨・PMTC

必要器材

- ①エックス線フィルム
- ②歯周病診査記録
- ③ハンドスケーラー
- ④ガーゼ
- ⑤PMTC用コントラ
- ⑥コントラ用チップ
- ⑦フッ化物入り歯面研磨剤
- ⑧ポリッシングブラシ
- ⑨ラバーカップ
- ⑩ポケット洗浄用シリンジ
- ⑪ヨードグリセリン
- ⑫初診時のカラーズライド
- ⑬手鏡

